

●仕上げが映す日本の美

豊穰の祈りを鏝絵に込めて

橋戸稲荷神社本殿



橋戸稲荷神社本殿は、神社建築では珍しい土蔵造りで足立区登録有形文化財に指定されている。観音開きの左右の扉内側には伊豆の長八(入江長八)による夫婦の白狐の鏝絵が描かれていることで知られ、向かって右扉には雄狐、左扉には雌狐が子狐を抱き、背後にもう一匹の子狐と稲穂が配され、子狐を見守る母狐の慈愛溢れる眼差しと優美な白狐の姿に名工の技量が遺憾なく発揮されている。土蔵造りの本殿と鏝絵の図柄は橋戸耕地の稲の豊作を祈願したものといわれ、(株)あじま左官工芸の施工により伊豆の長八の鏝絵を保存しながら、老朽化した本殿の修復工事が行われた。

橋戸稲荷神社

〒120-0038 東京都足立区千住橋戸町25-1

